

日本各地で新型コロナウイルス感染者が増加傾向！

現在、ヨーロッパでは新型コロナウイルス感染の第二波が訪れています。第一波を封じ込め、経済活動を再開させ、感染予防策を取ってきたのですが、感染対策の重要な役割を果たす感染者の追跡が上手くいっていないようです。スペイン、イギリス、ドイツ、ベルギーなどで新型コロナウイルスの第二波に見舞われ、ロックダウンなどの対策を取っています。



日本では7月22日よりGoToトラベルキャンペーンが開始され、10月1日に東京都民にも適用が開始されました。

GoToトラベルキャンペーンが開始され、北海道や沖縄等に訪れる観光客が増え、日本各地の観光地は少し賑わいを取り戻りつつあります。

しかしその一方で日本各地に感染者が広がっています。特に、観光地の北海道や沖

縄などで感染者が増加する傾向が見られます。

11月8日現在、北海道は11月7日に1日の感染判明者数が187人と過去最多となり、本県でも137人と過去最多となりました。沖縄では9月24日には感染判明者数が6人だったのに、1ヶ月後の10月23日には45人となり、ここのところ2桁が続いています。特に、10月の沖縄の感染者数は、人口10万人あたりでは東京、大阪、神奈川を上回り、全国最多となっています。これから冬を迎え、乾燥して飛沫が飛びやすくなるので感染者が増えると言われています。北海道で感染者が急増している要因は観光客の急増と、冬の到来が他地域より早いからという説があります。

沖縄修学旅行の実施に関する可否について検討してきましたが、やむなく中止と判断しました。このような現状で本県並びに沖縄での新型コロナウイルス感染症の状況が収束しているとは言い難く、長時間の移動や集団での寝食を伴う宿泊行事における感染リスクが避けられないこと、滞在先で生徒が発症した場合の長期滞留の可能性などを考慮しました。特に現地で生徒や教員が発熱や腹痛になりPCR検査を受けることになった場合、結果が出るまで3～4日かかってしまうことがあり、修学旅行本隊から離れたり、宿泊する部屋を隔離したりすることが求められます。また、1月の時期はインフルエンザも流行しますので、PCR受検や濃厚接触者に認定されたり、インフルエンザに罹患すると、飛行機に搭乗することができず、沖縄で数日間の滞留となります。

修学旅行は、大きな教育的意義をもつ学校行事であり、生徒が楽しみにしている行事ですが、生徒の健康・安全を最優先に考えたうえで苦渋の決断をしました。生徒、保護者の皆さん、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

学習の遅れを取り戻していますか？



政府から4月7日に出されていた緊急事態宣言が5月25日に解除され、本校は6月1日より再開となりました。3月2日より約3ヶ月間、休校期間がありました。

休校期間中に、校長が一番心配していたのが学習の遅れです。これは進路のみならず、将来の就職にも関係します。

5月16日に39県で緊急事態宣言が解除され、岩手県、青森県、鳥取県等で次々と学校が再開されていきました。このことから

学習の進捗状況に地域格差がでています。神奈川県は7月13日です。7月上旬、本校生徒が午前授業の時、本校の下にある蒔田中学校や横浜商業高校が3時過ぎまで授業を行っていました。

本校の生徒の大半は大学、短大、専門学校などの上級学校に進学します。それも首都圏にある学校に進学することになります。しかしながら、首都圏にある学校は、北は北海道、南は沖縄まで全国から学生が集まってきます。学校再開のタイムラグは、進路指導上の課題にも繋がっています。

県内の高校のなかには、休校期間中に学校に行かなくても済み、受験勉強が捗ったという生徒が少なからずいるという声も聞いています。本校では、休校期間中に課題やスタディサプリなどで学習の遅れがないように努めていました。学校が再開され、生徒の皆さん、学習の遅れを取り戻していますか。また、教員も学習の遅れを取り戻す工夫をしていますか。この学習の遅れは進学だけでなく、就職にも影響を与えることになります。

10月27日、政府は経団連など経済4団体に対して「学生が卒業後少なくとも3年以内は新卒扱いとすること」などを要請しました。これは就職氷河期にならないように企業側に要請したのですが、来春の就職状況は前年度と比較すると15%の求人情数が減少しているようです。高校での休校期間、大学等でのオンライン授業の期間によって大学、専門学校の学生の学力や技術力に差が出るのが考えられます。先日、八王子のある大学を訪れた際、ちょうど昼休みの時間に到着しました。食堂や学内のコンビニエンスストアに多くの学生がいました。この大学では既に対面授業が実施されていることが窺えました。それに対して本校に来校した卒業生から、未だにオンライン授業のみの大学や、ゼミのみ対面授業を開始した大学などの声を少なからず聞きます。

このように新型コロナウイルスの感染防止に伴い、学習の遅れが進学や就職に大きな影響を与えています。この学習の遅れを取り戻すためにも、自ら授業の予習・復習を行いましょう。特に、大学進学を考えている者は、スタディサプリなどの学習アプリを自ら進んで使っていくことが必要でしょう。遅れを取り戻す第一歩は、確実に予習・復習を行うことです。